ともに働き　ともに学び　ともに生きる　社会福祉法人　新城福祉会

なないろ通信

第17号
平成２４年１月
≪題字:原田茂≫

発行／社会福祉法人新城福祉会レインボーはうす
住所／〒441-1301　愛知県新城市矢部字本並 48 番地　TEL／0536-24-1313　FAX／0536-24-1555
●ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ／rainbowhouse@tees.jp　●ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ／http://nijidete.com/

"２．３ページは、ヘルパー事業特集♪"

旧年中は大変お世話になりました。

最初に、東日本大震災という未曽有の大災害から未だ１年と経たないため、新年のご挨拶は遠慮させていただきます。

地域生活支援に不可欠なものは 24 時間 365 日、そして全てのライフステージを繋ぐ支援体制の構築です。その実現のために私たちは、7 つの指定事業所がそれぞれに連携を取りながら、トータルかつ途切れることのない支援を目指してここまで来ました。

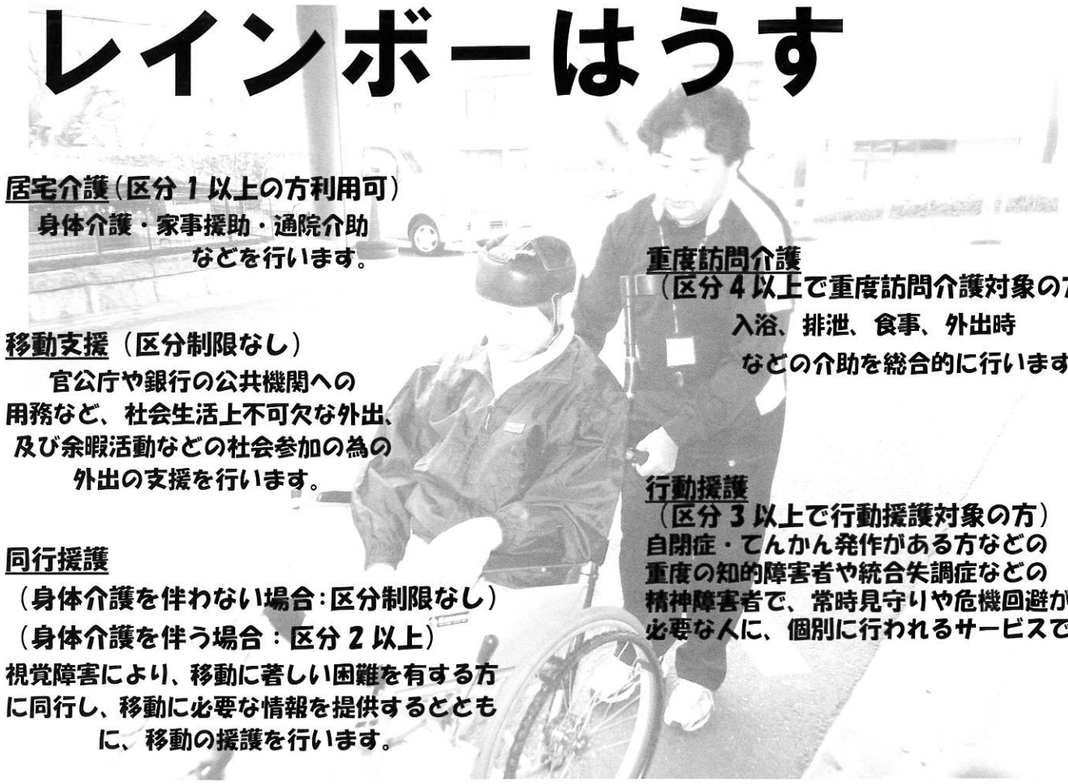
事業開始から９年目に向かう本年、目標は日中活動・居住支援の拡大、相談支援事業の充実・強化、就労・生活支援のセンター化の 3 つです。新城市を含む東三河北部圏域の地域生活支援の拠点として、その役割を担える法人に成長したいと思います。

今年もよろしくお願いします。

所長　長坂宏

社会福祉法人新城福祉会
レインボーはうす

居宅介護事業所
レインボーはうす



居宅介護（区分１以上の方利用可）
身体介護・家事援助・通院介助
などを行います。

移動支援（区分制限なし）
官公庁や銀行の公共機関への
用務など、社会生活上不可欠な外出、
及び余暇活動などの社会参加の為の
外出の支援を行います。

同行援護
（身体介護を伴わない場合：区分制限なし）
（身体介護を伴う場合：区分２以上）
視覚障害により、移動に著しい困難を有する方に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護を行います。

重度訪問介護
（区分４以上で重度訪問介護対象の方）
入浴、排泄、食事、外出時
などの介助を総合的に行います。

行動援護
（区分３以上で行動援護対象の方）
自閉症・てんかん発作がある方などの
重度の知的障害者や統合失調症などの
精神障害者で、常時見守りや危機回避が
必要な人に、個別に行われるサービスです。

ヘルパーの仕事って何だろうと考えた時に、食事を作ったり、掃除をしたりするのがヘルパーの仕事と思われる方が多いのではないでしょうか？もちろん食事を作る支援もありますし、掃除をしたりする支援もあります。

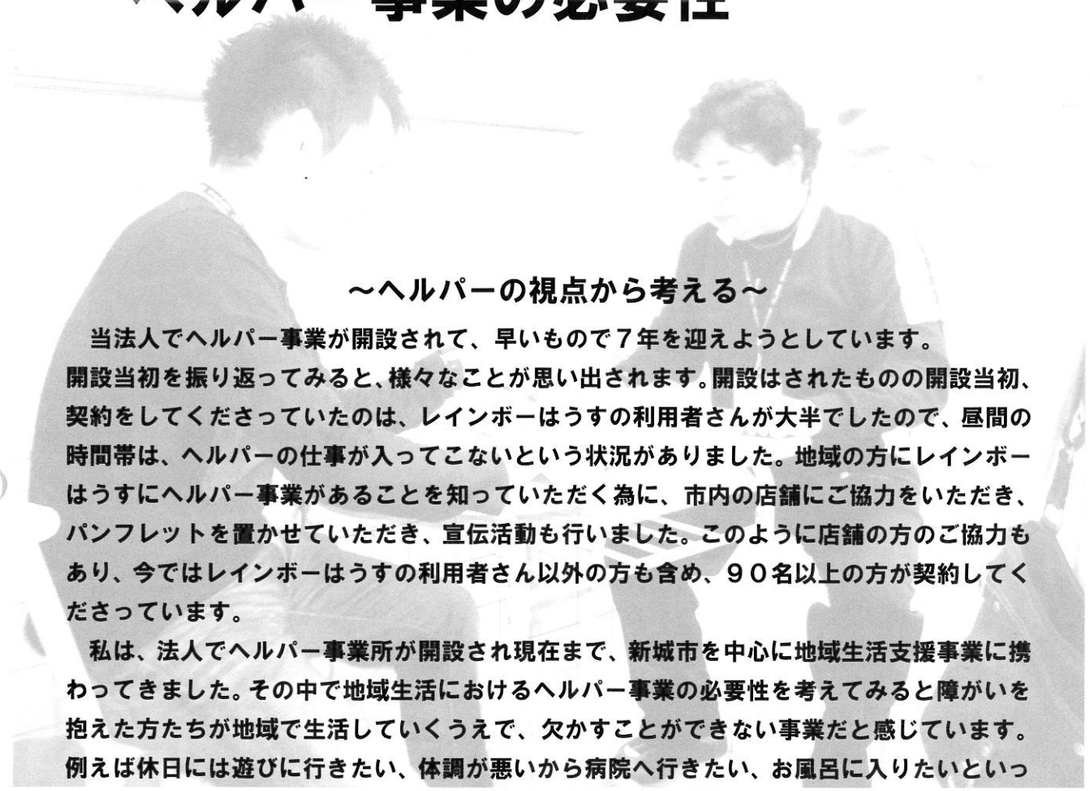
しかし、居宅介護事業所レインボーはうすのように障害者自立支援法におけるヘルパー事業所では、食事を作ったり、掃除をしたりする支援依頼は比較的少なく、「移動支援」というサービスを利用した余暇のお手伝い、外出のお手伝いをさせていただく支援依頼が一番多くあります。みなさん休日を中心にヘルパーと一緒にプールに行ったり、映画を観に行くなどお一人おひとりのニーズに合わせた余暇の時間を過ごしていただいています。その中で私たちヘルパーが、この仕事をしていて良かったと思う時は、「今日は楽しかったよ。次も頼むよ。本当に助かりました。ありがとうございました。」などのお言葉を御本人、御家族から頂いた時です。以前、実際支援に入らせていただいているＡ君が支援終了間際に「楽しかった。今度もヘルパーさんと○○に行く。」と言ってくださった時、本当に楽しみにしてくださっているのだと思い、嬉しくも感じ、支援の必要性と重要性を改めて認識しました。

私たちヘルパーの支援は生活支援ということもあり、御本人、御家族が日常生活を送るうえで、困った場面をお手伝いさせていただいています。しかし居宅介護事業所レインボーはうすを利用してくださっている利用者さんにもヘルパーの配置ができずお断りをさせていただき、ご迷惑をお掛けしています。今後も微力ながらみなさんの生活の支えの一部になれるように活動していきますので、よろしくお願いします。

“ヘルパー事業”についてのお問い合わせは　コチラ　↓↓

社会福祉法人新城福祉会
レインボーはうす
TEL0536-24-1313　北川まで。

地域生活における
“ヘルパー事業の必要性”



～ヘルパーの視点から考える～

当法人でヘルパー事業が開設されて、早いもので７年を迎えようとしています。開設当初を振り返ってみると、様々なことが思い出されます。開設はされたものの開設当初、契約をしてくださっていたのは、レインボーはうすの利用者さんが大半でしたので、昼間の時間帯は、ヘルパーの仕事が入ってこないという状況がありました。地域の方にレインボーはうすにヘルパー事業があることを知っていただく為に、市内の店舗にご協力をいただき、パンフレットを置かせていただき、宣伝活動も行いました。このように店舗の方のご協力もあり、今ではレインボーはうすの利用者さん以外の方も含め、９０名以上の方が契約してくださっています。

私は、法人でヘルパー事業所が開設され現在まで、新城市を中心に地域生活支援事業に携わってきました。その中で地域生活におけるヘルパー事業の必要性を考えてみると障がいを抱えた方たちが地域で生活していくうえで、欠かすことができない事業だと感じています。例えば休日には遊びに行きたい、体調が悪いから病院へ行きたい、お風呂に入りたいといった欲求は、日常生活を送るうえで、あたりまえのように出てくる欲求で、多くの方が普段、あたりまえのように満たされている欲求では、ないでしょうか？

しかし日常生活を送るうえで、このような必要最低限のあたりまえの欲求に困難を抱えている方がみえるのが実情です。当法人のヘルパー事業所におきましても開設以来、地域で生活されている障がいを抱えた方たちお一人おひとりの生活場面で困ってみえる所をお手伝いさせていただいてきました。ヘルパー事業があれば、障がいを抱えて一人暮らしをされている方や御家族で障がいを抱えている方の地域生活を支えていくことができる。これこそが、これまでの経験から私が感じる地域生活におけるヘルパー事業の最大の必要性であり、魅力であると感じます。当法人がヘルパー事業を立ち上げるに至った経緯のひとつに、障がいを抱えて地域で暮らしてみえるＯさん御家族の支援に対して、日中活動の支援のみでは限界が来たといった経緯が大きくありました。その原点こそ地域におけるヘルパー事業の必要性なのではないかと思います。約７年前、Ｏさん御家族の支援をきっかけに新城市に障がいのある方のヘルパー事業という新しい資源が誕生しました。

ヘルパー事業に限らず、地域においてフォーマルな資源、インフォーマルな資源、本当の必要性を教えてくれるのは、御本人だと感じます。私たちは、その必要性に対して、地域でどのような取り組みができるかを考えることが必要だと感じる今日この頃です。

居宅介護事業所レインボーはうす　サービス提供責任者　北川哲也

社会福祉法人新城福祉会
レインボーはうす

アート活動

不定期開催中！！

美術の先生をお招きしての本格的な活動です。
個性溢れる作品が多々出来上がっています。
いずれは“ルーブ○美術館”に展示される
可能性も・・・あるかもしれません。

グリーンファーム

農作業を中心に行っています。畑でとれた野菜は、
グリーンセンター、Ａコープ等でも販売されています。
メンバーたちの想いがたくさんつまった、
“グリーンファーム産　新鮮野菜”
一度は食べてみる価値があります。

わたしたちの

“職場”です。

朝 7:00 から 10:00 の開店に向けて
商品の陳列や補充の仕事をしています。
開店後は、バックヤードでのお寿司の
パック詰めです。朝早いのにも慣れて、
スタッフのみなさんとも楽しく仕事を
しています。仕事の日も休みの日も、
とっても楽しいです。

H23/6～　株式会社バロー　新城店→

私の仕事は 14:00～18:00。17:00 の開店に向けて、お店の清掃から始まります。お客さんが気持ちよく来てもらえることを考えて、仕事をしています。社員のみなさんとも仲良くなり、就職できてよかったと思っています。たくさんの人に食べに来て欲しいです。

←H23/9～横浜ゴム株式会社社員クラブ

僕の仕事は造園業です。外で働くのが好きで、こういう仕事の方が僕には合っていると思っています。体は疲れるけど、「やりがい」がある仕事で、就職できて本当によかったです。長く働き続けられるようにがんばります。

H23/11～　有限会社　栄花園→

就労移行支援を利用しての就職が続いています。23 年度（11 月現在）は 3 名が就職し、事業開始から 16 名の就職を支援することができました。「自分に合った仕事」はそれぞれ違いますが、“自分の能力を発揮して活躍できる”ことは、うれしいですよね。
これからもみなさんの活躍を楽しみにしています。

就労移行支援事業所レインボーはうす　サービス管理責任者　渡辺竜夫

“就職”

ゴールではなく、

スタートだ。

by ジョブコーチ

・障がいのある方を採用したいと思っているが、どんなことに配慮すればいいかわからない。（事業所）

・職場内の環境が変わったが、新しい環境に慣れることが出来ない。（当事者・事業所）

・就職するに当たって、作業を覚えられるか、
人間関係でうまくやっていけるか等の不安がある。（当事者・家族）

そんな時には、ジョブコーチ支援事業

働く障がいのある方を自然なかたちで見守り、支えることの出来る体制を目指して

障がいのある方の「働く力」
事業主・家族の「支える力」
➡ 最大限引き出すための
支援を行います。

“ジョブコーチ支援”についてのお問い合わせは　コチラ　↓↓

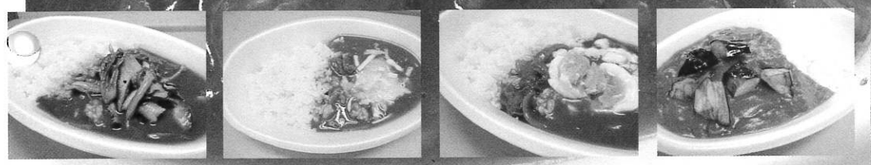
社会福祉法人新城福祉会
レインボーはうす

TEL0536-24-1313　大原 or 河口まで。

休日が
もっと楽しくなる。

鳳来牛 “牛すじカレー”
500円

“おいしさまるごと奥三河”



きのこ　チーズ　温泉玉子　なす

【土・日・祝日、各種イベントにて】
昼食工房“移動販売カレー”大好評稼働中。

社会福祉法人新城福祉会
レインボーはうす

認定 NPO 法人「難病のこども支援全国ネットワーク」による、
“サマーキャンプがんばれ共和国　in　おいでんほうらい”お楽しみ会の様子。

“宝物”がみつかる予感。

社会福祉法人新城福祉会
レインボーはうす

新人さん　いらっしゃい。

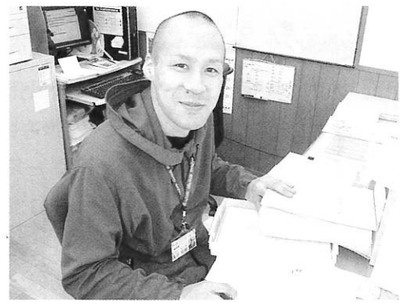
７月７日、七夕の日より新しく生活支援員の仲間入りをさせていただきました藤原有大と申します。現在は第一グループにて皆さんとお仕事をさせて頂いております。

以前は飲食店での接客業をしていましたので支援員のお仕事は初体験になりますが、皆さんと楽しく、頑張って成長したいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

９月より生活支援員としてお世話になっております熊谷省吾です。皆さんの笑顔と若い力は大変素晴らしく、小生のほうが毎日元気をもらいながらお仕事をさせて頂いております。

前身会社、３３年の日本、中国での製造経験を生かし、皆さんの力に少しでもなれる様、力一杯頑張っていきたいと思います。

６月 24 日よりヘルパーとしてお世話になっています、菅谷珠巳です。利用者の皆さんに心を込めた御支援ができる様に頑張るつもりです。明るく元気な先輩方や利用者の方々にエネルギーを貰いながら、毎日刺激のある生活を送らせて頂いています。レインボーはうすの一員として恥じないよう精進して行きたいと思いますので、これから宜しくお願いします。



11 月より、事務員としてお世話になっております
長谷佑樹と申します。学生の頃から、ずっとバスケットボールをやってきましたので、体力には自信があります。
日々学びながら、精一杯頑張っていきたいと思います。
よろしくお願いいたします。

11 月末、事務員として皆さんのお仲間に加えていただいた山口晶子です。社会福祉法人での仕事は初めてですので、勉強することばかりです。新しいこと、新しい人たちとの出会いにワクワクしています。裏方として皆さんを支えていけるように、しっかり務めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人新城福祉会
レインボーはうす

後援会　にじネットワークだより

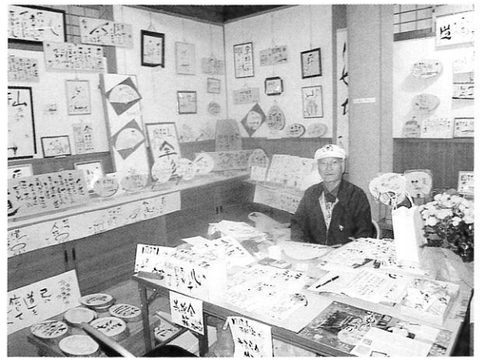
後援会は毎年多くの方が会員になって下さいます。またバザーなどにも多くのボランティアさんにお手伝い頂いています。皆様の「レインボーを応援しよう」というお気持ちに心から感謝致します。

今回は、これまで５年間に亘りご寄附を続けて下さっている「松尾竹彦氏」をご紹介致します。

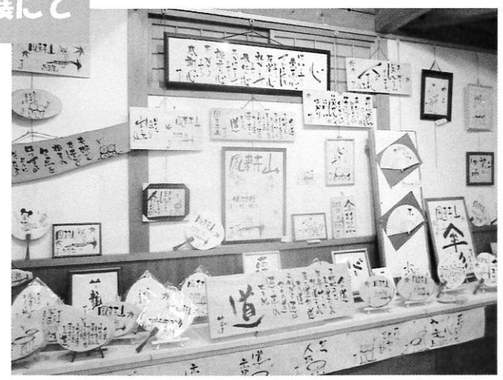
松尾氏は市内でも有名な書画家です。矢部の幹線道路からレインボーはうすへの入り口に掲げられた「レインボーはうす」の看板は松尾氏にお願いし、心を込めて作っていただいたものです。

また毎年市内の喫茶「アマン」や鳳来門谷「観来館」において「竹日子我流展」を開催され、その折に「レインボーはうす応援募金」を企画し、今までに７回ものご寄附を下さいました。

松尾氏の書画は、のびやかで語りかけるような生き生きとした字体とほのぼのとした穏やかな絵が多くの人の心を引き付けてやみません。その魅力溢れる作品を通して、多くの方々の応援を頂いていることを心からお礼申し上げます。



観来館の個展にて



平成２３年度後援会総会報告

毎年８月に行われている後援会定期総会において、平成２２年度決算報告が可決承認されましたので、ご報告いたします。

昨年度も法人への事業資金として多くの寄付ができました。

皆様のご加入に心から感謝致します。

今年度もどうぞよろしくお願い致します。

平成２２年度決算報告

収入		支出	
会費	1,061,850 円	事務費	396 円
（個人　221 / 団体　22）		通信費	59,870 円
寄附金	41,700 円	寄附金（新城福祉会へ）	1,200,000 円
イベント収入	453,565 円	寄附金（サポートホームへ）	120,000 円
ＧＨ準備金	120,000 円	GH 準備金返金	72,000 円
雑収入	180 円	雑費	29,000 円
繰越金	302,965 円		
合計	1,980,260 円	合計	1,481,266 円

次年度繰越金　498,994 円

ご加入ありがとうございます！

後援会にじネットワークの年度は
毎年「７月１日から翌年の６月３０日まで」です。

会員数 216
個人会員 195
団体会員 21
総額 1,029,000 円
H23.11.30　現在

会員目標数
３００！
お友達へのご紹介を
お願い致します！

中村昌弘、丸山紀代美、大原直樹、千賀佳代子、河口路、岡裕子、（資）シライ住宅設備、河合三郎、
今泉義一、今泉芳子、（有）上田モータース、長坂宏、（株）ごんだ、内田眞弓、菅沼ひろ子、今泉充司、
今泉絹子、今泉奈央、今泉拓也、新城歯科医師会、今泉歯科、鈴木雅久、竹下喜英、内藤佳代、夏目敏巳、
夏目聡、（株）三河猪家、天野禮子、岡山孝子、峰野修、原田静禧、原正江、中村太念十記、中村たづ子、
長宅純子、大谷浩平、大谷由子、天野泰次、内藤善久・郁代、山本加代、小林隆幸、小林和人、中澤和信、
青山芳子、今泉幸子、川合陌幸、山口実記子、立野久乃、中村ひろみ、鈴木しず、岩本達男、隅野ちえ子、
鈴木晴美、片瀬泰子、（有）建造、吉田淳、大海自動車（株）、渡辺竜夫、山口容子、岡本美津代、菅谷珠己、
西本さや香、柘植幸、本多三千代、柿野アキヱ、竹下純子、渡辺弘也、太田敬久、上野尚稔、山本仲二、
河合佑奈、林久代、中村嘉己、中村高三、藤原正幸、松村麻佐子、樅山幸代、竹川喜久子、百嶋覚、原亘孝、
清水良文、杉浦史佳、松尾竹彦、佐々木勇、杉江辰司、前崎裕久、前崎みち子、前崎伸周、藤沢祀子、
後藤守男、（株）ヨコタ印刷、福井利夫、鈴木俊男、小林薫、河合江美、石原久子、城所十三子、
モト・インパルス（有）、村松司法書士事務所、山内雄一、大林克影、小林公彦、杉浦孝美、今泉勝代、
鈴木由路、梅田加代子、竹中みつる、今泉まさよ、佐藤文雄、天野貴子、牧野孝、山田由乃
（直接受付分　H２３.７.１～H２３.１１.３０）

名、大谷将夫、（株）あみや商事、平田義則、（有）井出村管工、丸山かずゑ、山本芳央、夏目明彦、
（株）小栗商店、岡本由紀子、鈴木美穂子、丸山俊治、熊谷勝、今泉研吾、森映子、佐野守孝、中井潔、
（株）厨林堂、安形俊恒、古井戸龍介、磯部ゆき枝、川合守、七原おさむ、大西裕、伊藤二三江、加藤公子、
堤忠章、内山治夫、原田邦義、藤堂三男、前澤昌子、藤野モータース（有）、山本福八、伊藤義彦、
村上逸人、白井幹郎、田中和幸、佐々木徳人、佐々木秀子、佐々木よしゑ、佐々木栄治、佐々木麻紀子、
ヘアーサロンスガヤ、佐原啓泰、瀧川久深子、原田和史、原田純一、夏目正子、松井昭二、植田昭夫、
長坂靖子、西郷省吾、佐々登志夫、静巌堂医院、鈴木崇史、依田巴、松村明美、伊藤儀隆、（株）田村組、
鈴木克昌、星野たか、松井建拓（株）、（株）大建、白井諒俊、今泉みよ、大松巍、米田内科米田正弘、
長谷川卓也、伊丹印房山崎修由、稲田真由美、光田屋（株）、寺部啓介、北村きぬよ、菅沼千津子、匿名、
山谷千恵、坂巻保子、加藤実、夏目勝彦、伊藤謙太郎、加藤展博、小林恭子・川口弘、川西盛久、梶本博志、
菅谷美浪、今泉公利、白井宏明、広瀬定代、黒川雅代子、片桐征子、山本昌央、浅見重子、山崎晴美、
神本敏治、加藤昭貴、高木正久、小嶋俊則、生活協同組合コープあいち、山口悦治、瀧川オブラート（株）、
牧野和彦、理容ひびい、金田佳世子、高野和孝
（郵便振込受付分　H２３.７.１～H２３.１１.３０）

敬称略・受付順に記載

ボランティア　H23．5．1～H23．11．30

竹下容子様、民生委員様、はぐるまの会様、阿部民生様、
島久恵様、瀧元栄主様、山本佳澄様、権田莉沙様、白井貴大様、下田綾乃様

寄贈　H23．6．1～H23．11．30

林昭男様（洗濯機）、河口宗子様（お茶葉）、上田進様（野菜他）、中村高三様（果物）、
浅見重子様（花苗）、藤原様（果物・お米）、㈱光陽様（豊橋善意銀行様）（冷凍うどん）、
大久保昭彦様（果物）、ハーラウ　オ　カ　プア　ノホ　マリエ　代表　高木よし子様
（お米券）、岡本利彦様（お茶葉）、佐宗様（パン）、藤原正幸様（米他）、今泉智行様（菓子）、
原亘孝様（野菜他）、右田様（箱ティッシュ）、花王㈱様（洗濯洗剤）、池田よし子様（果物）、
小島京子様（菓子・果物）、竹下容子様（果物）、匿名様（大豆）、上田様（果物）、新川様（果物）

寄付　H23．6．1～H23．11．30

林昭男様、松尾竹彦様、中嶌幸子様、小林薫様、小出やえ子様、松尾竹彦様、山田由乃様
レインボーはうす家族会、後援会にじネットワーク

～皆様本当にありがとうございます～

就労支援事業収入

（生活介護・配食・菓子製造・
施設外作業売上高合計額）

5月	2，019，694円
6月	2，077，850円
7月	2，354，491円
8月	2，472，578円
9月	1，650，594円
10月	1，937，816円

退職者紹介

下記の方が退職されました。お疲れ様でした。
■林昭男さん　■内田宜孝さん

“編集後記”

東日本大震災から10か月が経過しようとしています。
被災地の様子が、テレビ等で報道される場面は減ってきています。しかし、震災が残した大きな傷跡は消えることはありません。
継続しましょう。“自分たちのできること”を。

社会福祉法人新城福祉会
レインボーはうす

～障害者自立支援対策臨時特例基金市町村事業・愛知県障害者相談支援体制整備圏域アドバイザー事業～

第5回市民福祉フォーラム　報告とお礼

平成23年12月10日(土)、第５回市民福祉フォーラムを新城市商工会館にて開催しました。『私たちが東日本大震災から学ぶもの　～安心して暮らせる街づくりのために～』と題して講演、討論会そしてライブコンサートの三部を通して、震災時の暮らしと対応について考える機会となりました。

▲【講演される「風の里」センター長　三浦氏】

当日は、多くの方々にご参加いただき、関心の高さとフォーラムを通した情報発信の大切さを感じた一日でした。
本当にありがとうございました。

第１部においては、基調講演『3.11 あの日私たちが経験したこと、そしてこれから』を東日本大震災で自らも被災しながらも、避難所において障がいのある人を支援し続け、多くの支援団体と共に、自らの法人・事業所の再建と町の復興に取り組んできた、宮城県南三陸町地域活動支援センター「風の里」センター長の三浦薫氏を迎え、きょうされん愛知支部事務局長の大野氏のサポートで講演をいただきました。
生々しい震災時の映像を交え、避難箇所で仲間と共に耐えた暮らしの様子は、心に痛く伝わるものでした。そして、三浦さんから「問題が起きた時の対応よりも、普段から顔の見える関係づくりが地域にはとても大切」のメッセージを強く示唆されました。

第２部においては公開討論会『障がいがあっても災害時を生き抜くために』を行いました。
討論者に穂積亮次新城市長はじめ新城市民病院総合診療科医長の宮道亮輔 Dr.、新城市市民福祉部福祉課長の夏目孝温氏、さらに新城市消防本部防災対策課長の大原宗鑑氏を迎え、新城市の災害に強い街づくり構想、市の防災計画、福祉避難所さらに医療体制など、被災時における備えについて、それぞれわかりやすく、そして行政の側面からも熱く語られました。

▲【災害に強いまちづくりについて熱く語る　穂積市長】

第３部は小室等＆こむろゆい（ラニヤップ）によるライブ『ここから風が～レクイエムと復興に向けて～』を行いました。やさしい語りとメロディーの中に、とても力強いメッセージが込められていました。
フォーラムを締めるにふさわしいひと時を会場の人たちと共に過ごす事が出来ました。

◀【会場を和ませ、一体となった　小室等＆こむろゆいライブ】

最後に、3.11 東日本大震災によって被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。